



しげ ちか

でき成元 議員が 府議会で一般質問

でき成元議員(枚方市選出)は、5月定例府議会で一般質問に立ち、枚方市内における支援学校の新規整備や府の治水対策などについて質問し、「淀川新大橋」の早期整備を要望しました。

〈出来 成元 できしげちか〉

昭和23年12月26日生まれ。大阪工業大卒。参議院議員中山太郎秘書、衆議院議員中山正暉秘書、枚方市議会議員、自民党府議団政調会長。現在、大阪府議会議員3期目、自民党府議団副幹事長、自民党枚方支部長、社会福祉法人高潤会理事長職務代理、府議会商工労働常任委員会委員。



枚方市に整備される支援学校について

通学路の安全確保へ 府教の取り組みは?

Q. でき議員 北河内地域において平成27年4月に枚方市立村野中学跡地に支援学校と高等支援学校開校の整備が進められており、期待している一方で学校に隣接する市道の狭さや村野駅前の府道に歩道がない等の不安の声も出ている。通学路の安全確保は重要である。府教育委員会はどのように取り組んできたのか。

A. 教育長 通学バスの運行に合わせ、昨年11月から着手した工事において学校に隣接している市道を学校敷地側に拡げることとしている。村野駅前府道については西側の電柱の撤去や道路脇の溝の蓋の改修を行い、歩行スペースを確保することとした。

開校後の地元との 具体的な取り組みは どのようなものか

Q. でき議員 支援学校や高等支援学校も地元と多様なつながりを持ち、活動内容を理解してもらうことが肝心と考える。開校後の具体的な取り組みは?

A. 教育長 新校において「地域支援室」を設置する予定であり、地域の小・中学校等の教職員と支援学校の教員が指導方法等を共有し、専門性の向上につなげていきたい。地域の子供達とは「交流及び共同学習」として支援学校と共に学ぶなどの学習活動を行い、大人も含めた地域の方ともバザーや実習を通じてふれあう機会を作っていく。

大阪府の治水対策

府の内水浸水被害の 軽減への対策は?

Q. でき議員 私の地元の枚方市においてもゲリラ豪雨による浸水や汚水管渠の中に雨水が混じるような事例もあったと聞いている。府の内水浸水被害の軽減への取り組みは?

A. 都市整備部長 浸水被害の軽減に向け、公共下水道における雨水幹線の整備計画の策定を支援すると共に交付金の確保について国へ働きかけるなど、市町村と連携しながら取り組んでいく。

でき議員 要望

淀川渡河橋の 早期整備について

枚方市を横断する計画の新名神高速道路については平成35年の全線整備に向け、大きく動き出しています。新名神高速道路の併設橋又は牧野高槻線の橋梁である「淀川新大橋」(仮称)のどちらかが整備されれば、地域活性化にも貢献し、極めて重要なネットワークが形成されます。地元枚方市民の切なる願い、併設橋又は牧野高槻線の橋梁である「淀川新大橋」(仮称)の早期整備を強く要望いたします。

